年間授業計画様式例

中野工科高等学校令和５年度　教科　家庭　　科目　子どもの発達と保育　年間授業計画

教　　科：家庭　科　　目：子どもの発達と保育　　単位数：　２単位

対象学年組：第３学年　必修選択

教科担当者：（M1組：井上）（F1組：井上）（F2組：井上）（C1組：井上 ）

使用教科書：（　子どもの発達と保育　　教育図書　）

使用教材　：（　なし　）

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
４月	「子どもの発達の特性」	○生涯発達における乳幼児期の重要性	・人との「かかわり」の大切さを知らせる。 ワークシート・実習課題	4
	「子どもの生活」	○子どもの遊びと生活	・子どもにとっての遊びの重要性を理解させる。	
	実習:カレンダー製作	○保育に関する作品製作	・子どもが興味関心を持てる内容のものを考える。 ワークシート・実習課題	

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
5月	「子どもの発達の特性」 実習:カレンダー製作	○発達と環境 ○発達観・児童観	・子どもがさまざまな影響を受けながら成長することを知る。 ・人が生まれながらにして社会的存在であることを理解する。 ワークシート・実習課題	6
	「子どもの生活」	○子どもの食事	・年齢別に必要な栄養と食生活の特徴を知る。 ワークシート・実習課題	

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
６月	「子どもの発達過程」 実習：名札作り	○乳幼児期のからだの発達 ○乳幼児期の発達の特徴 ○人間関係の発達 ○心の発達 ○保育に関する作品製作	・子どもたちの成長には、個人差が大きいことを理解する。 ・発達段階に応じた対応を理解させる。 ワークシート・実習課題	8

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
7月	実習:名札作り	○保育に関する作品製作	・保育園実習の時に使用する名札を作り、実習の期待感を持たせる。 ワークシート・実習課題	4
	実習:保育園実習	○7月で保育園実習を計画	・自分で作成したものを持って保育園に実習に行き、子どもたちと触れ合うことによって、育てることの大切さを学ぶ。	

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
８月				

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
９月	「子どもの生活」 実習:布絵本作り	○子どもの健康と生活	・養護の必要性・目的を理解する。 ・基本的生活習慣と社会的生活習慣の違いを理解する。 ワークシート・実習課題	8

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
10月	「子どもの生活」 実習：布絵本作り	○子どもの衣生活	・乳幼児に適した被服の素材やスタイルを知り、適切な衣服計画ができるようにする。 ワークシート・実習課題	8

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
11月	「子どもの生活」 実習:布絵本作り	○子どもの健康管理	・子どもの体と心の健康を理解し、健やかな成長を考えることができる。 ワークシート・実習課題	8

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
12月	「子どもの保育」	○保育の意義と目標 ○保育の方法	・保育の意義を理解し、保育園と幼稚園、認定こども園の内容を理解させる。	4
	実習:保育園実習	○12月1月に保育園実習を計画	・自分で作成したものを持って保育園に実習に行き、子どもたちと触れ合うことによって、育てることの大切さを学ぶ。	
	実習:布絵本作り		ワークシート・実習課題	

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
1月	「子どもの福祉と子育て支援」	○児童福祉の理念と関係法規・制度 ○福祉に関わる施設 ○さまざまな子育て支援	・児童福祉の理念を理解し、それを土台とした法律や制度を知る。 ・児童福祉施設にどのようなものがあるのかを知り、その役割を理解する。 ・子育てを社会的にサポートする制度等を知り、その意義を理解する。 ワークシート・実習課題	6

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
２月				

	指導内容	科目　子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当時数
３月				